



奉仕を通じて  
**平和を**  
田中作次  
2012-13年度  
国際ロータリー会長

【2012-2013年度R1テーマ】

**FUJIEDA SOUTH ROTARY CLUB**

**藤枝南ロータリークラブ会報**

例 会：毎週金曜日 小杉苑 藤枝市青木2-35-30 TEL：054-641-3321  
事務局：藤枝市青木1-11-10 TEL：054-647-2300 FAX：054-647-2040  
E-mail:club1991@fujieda-rotary.org

会長：村松 章隆 副会長：早川 清人 幹事：内山 淑夫 副幹事：松浦 正秋

**第1010回**



職場訪問例会  
＜浜岡原子力発電所＞



浜岡原発視察  
原子力館展望デッキ  
より施設を望む

会長報告 村松 章隆君

おはようございます。早朝より御苦労さまです。本日は、藤枝ロータリークラブの小泉さん(中部電力藤枝営業所 所長)の計らいで、全て、中部電力さんのお招きで、バスに乗って、浜岡原発の見学会の例会です。普段は、一般の方は勿論、中々入れない現場まで、案内していただける貴重な体験になると思います。今後の参考になるとおもいますので、しっかり勉強させて帰りたいと思います。

また、静岡県漁業協同組合連合会の温水利用研究センター(所長：稲葉様)に寄って帰るスケジュールになっております。よろしくをお願いします。

出席報告

本日のホームクラブ出席者	前回の補正出席者
14 / 43 32.560%	33 / 43 76.74%

(1)欠席者(事前連絡とメイクアップをどうぞ)

- 朝比奈君 池ヶ谷君 池谷君 伊藤彰君  
伊藤恒君 稲葉君 植田君 漆畑君  
江崎君 川口君 桑原君 小池君  
小林君 小山君 玉木君 殿村君  
富澤君 伴野君 内藤君 早川君  
望月君 森竹君 山田君 若林君  
渡辺哲君 渡邊博君 藁品君

(2)メイクアップ者

- 桑原 茂君(榛南) 富澤 静雄君(榛南)  
小池 吉久君(榛南) 森竹 正晃君(榛南・静岡)  
渡辺 博文君(榛南・静岡)  
渡辺 哲朗君(榛南・静岡)

- 中山 恵喜君(静岡) 稲葉 俊英君(静岡)

ビジター

- 萩原 寛一君(島田) 鈴木 金苗君(島田)  
大澤 勲夫君(島田) 松岡 好子君(焼津)

松永 嘉治君（焼津南） 古桑 幸郎君（焼津南）  
 藪崎 正義君（焼津南） 清水 勲君（焼津南）  
 松葉 隆夫君（藤枝） 杉山 静一君（藤枝）  
 石割 郁子君（藤枝） 櫻井 龍太君（藤枝）

中部電力（株）浜岡原子力発電所視察

記事：佐野芳正君

9月21日、会員14名と事務員で中部電力浜岡原子力発電所を視察した。



（写真 1 原子力館前で）

中部電力（株）藤枝営業所小泉所長（藤枝RC会員）、大井さん、加藤さんに案内をしていただいた。ここで働く社員は821名。協力会社の方は津波対策に従事する作業員を含めて3415名です。正門には守衛が厳重にチェックをしており、構内には写真付きの身分証明書の確認がないと入れない。さらに金属探知器による検査があり、まるで空港での搭乗検査のようです。もちろん写真撮影は禁止です。



原子力館の小川さんより説明をいただく。（写真2 研修室で）

津波対策には主に3つの対応をとっている。

浸水防止対策1 ~ 敷地内への浸水を防ぐ ~  
 海拔18mの防波壁を延べ長さ1.6km築

造する。防波壁を受ける基礎は岩盤まで達しています。敷地の高さが海拔8~10mですから、立ち上がっている壁は地面より10m~12mとなります。



写真 3(防波壁の模型。右側が海、左が防波壁で基礎が岩盤まで達していることを説明している。)



写真 4 (国内の規格品で最も太い51mmφの鉄筋を使用。奥脇さんの指が廻らない太さ。)



写真 5(施設構内の遠景。海との堺にあるのが防波壁。)

浸水防止対策2 ~ 敷地内へ浸水しても建屋内への浸水を防ぐ ~



非常用の海水取水ポンプを防水建屋内に新設。  
強化水密扉の新設。

緊急時対策の強化 ～冷やす機能を確保する～

原子炉内へ直接水を送るル - トの確保、原子力から発生する熱を取り除く設備の設置、代替電源機器の設置などでフォロー - アップする。

小泉所長のコメント ～エネルギー - 供給について～

日本のエネルギー - 源となる原材料の自給率は4%です。液化天然ガスは年間1億トン輸入しています。化石燃料は高騰し、また安定して輸入できるという保証もありません。皆さんには原発よりむしろ火力発電所を視察していただき多くの化石燃料が消費されている現状を見てほしいと思います。

ウラン1gは石油1000Lの熱源に相当します。また、ウランは原子燃料サイクルによって再生が可能です。

福島原発の事故を教訓とし、日本の技術力を総動員して安全対策を強化し、安く安全な電気を供給していく必要があると思います。

もちろん、再生可能エネルギー - の普及、拡大にも取り組んでいきます。



写真 6 (海岸沿いに設置された風力発電。1基で年間1500世帯に電気を供給できます。平均風速7m以上で設置の効果がありますが、稼働率は20%程度です。柱は4000mmφ。羽を含めた高さは120m。)

#### 静岡県温水利用研究センター - 視察

浜岡原発からの7度高い温度の温排水を水産に有効活用した施設。マダイ、ヒラメ、トラフグ、

アワビ、クルマエビ、クエなどの卵をふ化し稚魚を駿河湾に放流している。あわせて900万尾で、沿岸漁業の振興に努めています。

現在、全ての原発が停止しており温排水が利用できない状態で、国の補助を受けて対応しています。



写真 7 (センター - の前で。中央は所長の稲葉義之さん。稲葉俊英会員の弟さん。)



写真 8 (マダイのいけすを覗き込む会員。成魚が元気に泳いでいた。)

(担当 / 佐野君)